

山之口運動公園体育館外 1 施設指定管理者候補者選定の概要

山之口運動公園体育館及び山之口佐土原市民広場の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和元年 1 2 月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

1. 指定管理者候補者の概要

(1) 団体の名称

NPO 法人都城ぼんちスポーツクラブ

(2) 代表者名

理事長 星原 透

(3) 所在地

都城市高城町穂満坊 2 4 9 2 番地

(4) 設立年月日

平成 1 9 年 2 月 2 8 日

平成 2 2 年 1 0 月 2 9 日 (NPO 法人格取得)

(5) 従業員数

1 9 名

(6) 業務内容

- ・各種スポーツ教室、スポーツサークルに関する事業
- ・各種スポーツ大会、スポーツイベントに関する事業
- ・各種スポーツ研修会、講習会に関する事業
- ・スポーツ指導者の育成、派遣事業
- ・スポーツ及び健康増進活動の企画、運営受託事業
- ・主にスポーツに関する情報収集及び提供
- ・公共スポーツ施設の管理委託業務
- ・学術、文化、芸術の振興を図るための事業
- ・その他、本法人の目的達成のために必要な事業

2. 指定期間

令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日 (3 年間)

3. 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

施設名及び所在地	施設規模等
----------	-------

山之口運動公園体育館（都城市山之口町 花木2381番地4）	延床面積：1,630㎡ （バレーコート2面）
山之口佐土原市民広場（都城市山之口町 花木2416番地1）	敷地面積：2,069㎡ （ゲートボール場2面）

（2）業務概要

- ①施設の運営に関すること
- ②施設の維持管理に関すること
- ③施設の安全管理に関すること
- ④県陸上競技場整備事業に伴う対応
- ⑤報告業務

4. 事業計画の概要

（1）市民の平等な利用が確保されること

①管理運営方針等

- ・利用者目線に立ったサービス向上を図る
- ・安全安心で快適な施設利用を提供する
- ・利用促進のための魅力的な事業を実施する
- ・市民及びスポーツ団体等との連携を図る
- ・条例・法令等による公平・適切な管理運営に努める
- ・戦略的かつ効率的に管理運営し、その効果を最大限地域に還元する

②平等利用

- ・窓口で予約状況が分かるようにオンライン化
- ・毎月第3月曜日に貸出利用調整会議を実施
- ・高齢者への配慮として、老眼鏡やルーペを配備
- ・身体障がい者への配慮として、車いすの用意や職員のサポートの実施
- ・聴覚障がい者への配慮として、「耳マーク」カードを受付に設置

（2）事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること

①利用の促進

- ・テニスラケットやバレーボール等のレンタルを行う
- ・1130運動を推進するため、健康づくりがテーマの「ニュースポーツ体験」を実施
- ・FC東京の元日本代表選手による「トップアスリートによる講演会」やサッカー教室、バレーボール教室を実施
- ・子ども達がスポーツマンシップなどの人格形成を身につける取組を実施
- ・ノルディックウォーキングを楽しみながら地域の良さを再発見する企画で文化活動との連携を図る

②サービス・利便性の維持向上

- ・大会やイベントにより、開館時間外の利用申請があった場合は、利用者優先で柔軟に対応
 - ・利用者満足度のアンケート調査を実施し、その結果を毎月のセルフモニタリング会議等で開示し、業務に反映する
 - ・施設の設備と機能を最大限活用できる大会、合宿やキャンプなどのイベントを誘致
 - ・施設の特性を活かした親子ビクス教室やエンジョイスports教室、ニュースports体験会等の自主事業を実施
- (3) 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること
- ①経費節減
- ・光熱水費のベンチマーク分析による経費削減策の検討
 - ・修繕技能のある職員による軽微な修繕や部品交換の実施
 - ・施設・設備管理業務、保安警備、環境衛生・管理業務、植栽管理業務に関して専門的な業務となる場合は業務委託を行う
- (4) 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有すること
- ①物的能力
- ・類似施設として、高城運動公園（体育館、野球場、多目的広場、テニスコート、屋内競技場等）や高城勤労青少年ホーム、石山体育センター、高城農村環境改善センター等がある
- ②人的能力
- ・公認体育施設管理士や健康運動指導士の職員を配置する。その他、木製床管理者養成講習会修了者、ジュニアスポーツ指導員、陸上競技コーチ等の有資格者がいる
 - ・教育研修について、新任者研修、顧客満足度向上研修、防犯防災緊急時研修等を実施
- (5) 地域に貢献する取り組みが確保されていること
- ①地域貢献
- ・都城市を拠点に活動している総合型地域スポーツクラブで、現在は高城に事務所を置き、高城・山之口を拠点に事業を実施
 - ・ほとんどの職員を地元雇用している
 - ・これまでサッカー、野球、ソフトボール等の競技において、プロチーム、高校・大学のチーム、実業団等の団体のキャンプや合宿の実績があり、選手たちとの交流は地域コミュニティの形成につながり、また、地域経済の活性化と市の認知度アップに寄与しているので、今後もキャンプ誘致を通じて市をアピールしていく
- (6) その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準
- ①地域密着力
- ・これまで小学生を対象にしたスポーツや水泳などの教室、ウォーキングやソフトテニスなどのサークル活動、グラウンドゴルフやバドミントンなどの大会・イベントの開催、幼稚園や公民館等への運動指導等の派遣事業及

び高城地区体育協会や都城さくらマラソンの事務局受託など、指定管理にとどまらず地域に溶け込んだ活動を複合的に展開しているため、今後も継続していく

- ・FC東京にクラブアドバイザーに就任していただいたことをきっかけとして、今後もトップアスリートによるスクール等の開催を実施
 - ・ツエーゲン金沢や栃木SCのJ2チーム、ラグビートップリーグの神戸製鋼スティーラーズ、シオノギ製薬女子ソフトボールチームとの交流をさらに深め、指導者派遣事業等を行うことにより地域活性化に寄与する
- ②県陸上競技場整備事業に伴う対応
- ・施工業者と連携協力し、看板設置や警備員配置等により安全対策を図り、利用可能な施設利用に支障が無いように努める

5. 選定結果の概要

(1) 公募の状況

①申請団体数

3団体

②指定管理者候補者選定までの経過

令和元年6月4日 第1回選定委員会開催

令和元年6月20日～令和元年7月22日 募集（くらしの情報6月号、市ホームページへの掲載）

令和元年7月24日 現地説明会

令和元年7月29日～令和元年8月9日 申請書類受付

令和元年9月19日 第2回選定委員会開催、書類審査・面接審査

令和元年10月7日 選定結果報告

(2) 都城市指定管理者候補者選定委員会委員構成

委員構成		人数
有識者	学識経験者	1人
	税理士	1人
	司法書士	1人
	行政書士	1人
	スポーツ推進委員	1人
	商工会関係者	1人
施設利用者代表		1人

(3) 選定理由

令和元年6月3日及び9月19日の都城市指定管理者候補者選定委員会において、書類審査・面接審査をもとに、選定基準に基づいて総合的に審査・選考（総合得点方式）を行った結果、以下の理由でNPO法人都城ぼんちスポー

ツクラブが指定管理者として適正であると判断しました。

「選定基準1 市民の平等な利用が確保されること」

- ・スポーツ指導等の有資格者を配置したきめ細かなサービスの提供が提案されているほか、業務マニュアルの整備による利用申込ルールの明確化や予約照会のオンライン化等も提案されており、市民の平等利用の確保や設置目的に沿った適切な管理運営が期待できること。

「選定基準2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること」

- ・地域住民や関係団体と連携した多彩な自主事業が提案されており、地域と連携した利用促進が期待できるほか、SNSや動画配信などのICTを活用した情報発信や広報・PR活動が提案されているなど、利用者サービスの向上にも期待できること。

「選定基準3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること」

- ・他類似施設との一体的な管理による業務の効率化が図られているほか、具体的な経費節減策も提案されており、適切な経費配分による効果的な管理運営が期待できること。

「選定基準4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること」

- ・これまでの管理運営実績に加え、施設管理や体育指導等の有資格者の適切な配置計画が提案されているほか、職員の意欲向上にも配慮された研修・育成計画も充実しており、利用者への適切な対応と安定的な管理運営が期待できること。

「選定基準5 地域に貢献する取り組みが確保されていること」

- ・都城市を拠点に活動する総合型地域スポーツクラブとして、地元団体と連携した事業展開や積極的な地域活動への参加など、地域に根差した取り組みによる地域コミュニティの形成や地域活性化が期待できること。

「選定基準6 その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準」

- ・県陸上競技場の整備期間中の対応として、施工業者と連携した安全対策が提案されており、施設利用に支障のない安全に配慮された適切な管理運営が期待できること。

(4) 選定委員会における主な意見

〈選定基準に関する事項〉

- ・選定基準については、施設の特性を考慮し、体育施設における専門的な知識・経験・実務・責任を備えているか、また、令和8年度の宮崎国民スポーツ大会開催を見据え、地域に溶け込んだ多様な自主事業の展開と県陸上競技場整備に配慮した管理運営が可能であるかという項目に重点的に配点を行った。

〈指定申請書記載事項について〉

- ・既に、体育施設管理に必要な資格だけでなく、それ以外にも多種多様な資格を持つ職員を有しており、その他、接遇・救命・防災等、研修計画が具体的に提示されており、今後益々質の高い事業の展開が見込まれる。
- ・業務内容及び担当や、業務の分担、シフト案も具体的に提案されており、トラブル時の対応や市との連携等もスムーズかつ迅速な運営が期待できる。
- ・子どもの人格形成や文化活動との連携、F C東京と連携したトップアスリートによるスクール、また、連携実績のある実業団からの指導者派遣事業等の自主事業における提案は、施設の利用者の増加等が見込まれ、地域活性化が期待できる。
- ・県陸上競技場整備施工業者と連携協力し、看板設置や警備員配置等により安全対策を図り、利用可能な施設利用に支障が無いように運営できる。

(5) 選定結果

別紙のとおり

選定結果

施設名：山之口運動公園体育館外1施設

選定基準	配点	採点結果			審査項目	一人 当たり 配点	審査内容
		団体A	NPO法人都 城ぼんちスポ ーツクラブ	団体B			
市民の平等な利用が確保されること	196	109.6	167.0	145.8	管理運営方針等	18	市の管理方針を認識しているか。 公の施設の設置目的を理解しているか。 申請団体の経営モラルは適切か。 環境に配慮した取り組みをしているか。
					平等利用	10	利用申込等が平等な利用を確保する提案されているか。 相談や苦情等の対応が提案されているか。
事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること	217	117.8	181.8	146.4	利用の促進	14	住民ニーズに基づく利用者増の提案がされているか。 利用者増のための広報・PR対策を提案しているか。 関係団体や地域住民との連携、交流の提案がされているか。
					サービス・利便性の維持向上	17	利用者サービスの向上について提案がされているか。 施設の維持管理、安全管理を的確に行えるか。 施設の設備、機能等の有効活用について、提案がされているか。 適切な利用料金の提案がされているか。
経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること	105	70.3	95.0	82.3	経費節減	15	指定管理料はどれくらい節減が図られているか。 経費節減の考え方について提案されているか。 具体的な管理業務の効率化が提案されているか。
事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること	308	134.4	258.4	221.2	物的能力	20	安定した運営が可能な申請団体の財務状況か。 類似施設を良好に運営した実績があるか。 収支計画の積算根拠が明確で、実現可能なものか。 収支計画と事業計画の整合性は図られているか。
					人的能力	24	組織体制、勤務体制、責任体制が確立されているか。 利用団体の指導及び育成支援の提案がされているか。 体育施設管理士等の資格取得に向けた研修体制及び接遇向上のための提案がされているか。 個人情報保護、情報公開及び労働法令等について十分認識して

							いるか。 まちづくりへの熱意、申請団体（新規）の将来性、地域団体や地域住民等との融合性、高齢者、障がい者雇用への配慮があるか、利用状況の把握
地域に貢献する取り組みが確保されていること	84	63.6	73.8	56.4	地域貢献	12	都城市内に本店等を有するか。 地域雇用の考え方が示されているか。 地域貢献の取り組みが示されているか。
その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準	70	40.8	55.2	49.2	地域密着力	6	施設を活用することにより、地域を活性化する企画・提案がされているか。
					県陸上競技場整備事業に伴う対応	4	整備期間中における施工業者との連携及び利用者に対する安全対策の提案がされているか。
合計	980	536.5	831.2	701.3		140	
〈参考〉：提案金額 （単位：千円）	9,634	9,400	9,600	（令和2年度）			

※提案金額をそのまま指定管理料として決定するものではなく、予算査定等を経て市議会の議決により決定するものです。